

レザーコンテナ

取扱説明書

MAK-10T MBK-10S



エコノ・ホースタイプをご使用になる前に

- 当社製品を安全かつ正しく快適にお使いいただくために、必ず本取扱説明書をお読み下さい。誤った使用方法是事故をひきおこす恐れがあります。
- お読みになったあとも必ず、製品と共に保管して下さい。
- 本製品を貸与または譲渡なさる場合は、この取扱説明書を必ず添付してお渡し下さい。
- この取扱説明書を紛失または損傷された場合は、すみやかに販売店にご注文下さい。
- なお、本製品は安全対策や、機能向上のため使用部品の一部変更を行う場合があります。このためイラストなどの一部が本製品と一致しないことがありますのであらかじめご了承下さい。
- また、ご不明の点やお気づきのことがございましたら、お買い上げ頂きました販売店、農協などにご相談下さい。



印付きの下記マークは、安全上、お客様にかかわる重要な項目です。必ず、お守り下さい。



危険

その警告文に従わなかった場合、死亡または重傷を負うことになるものを示します。



警告

その警告文に従わなかった場合、死亡または重傷を負う危険性があるものを示します。



注意

その警告文に従わなかった場合、ケガを負うおそれのあるものを示します。



株式会社 **タイショー**

■ 安全に作業をするために

 **注意** トラックへの積み込み、積み下ろしは平らな場所で行う。

【守らないと】
事故を起こす恐れがあります。

 **注意** コンテナはトラックに固定する。
コンテナのフック（4ヶ所）とトラックの荷台を、ロープなどで確実に固定して下さい。

【守らないと】
荷台からコンテナが転落したりして、事故を起こす恐れがあります。

 **注意** 積載重量は使用するトラックについての道路交通法の制限を守る。

【守らないと】
道路交通法違反になります。

 **注意** 電源プラグを差し込む前に本体スイッチが「停止」になっていることを必ず確認する。

【守らないと】
機械が急に動き出したりして、ケガをする恐れがあります。

 **注意** 急発進・急ハンドルを避け、慎重に運転する。

【守らないと】
転倒したりして、事故を起こす恐れがあります。

 **注意** コンテナ運転中はその場から離れない。

【守らないと】
緊急時の対応が遅れ、事故や機械の破損を引き起こす恐れがあります。

 **注意** 梁D（長い横梁）は忘れずに組み立てる。

【守らないと】
プレスが変形して柱が倒れ、事故を起こす恐れがあります。

 **注意** 丸頭ピンにRピンを確実に差し込む。ロックピンで横梁を必ず固定する。

【守らないと】
柱、梁等がはずれて、事故を起こす恐れがあります。

 **注意** ホースが本体に差し込んであるときは、ホースの排出口に手などを入れない。

【守らないと】
機械に巻き込まれたりして、ケガをする恐れがあります。

**注意**

モーターカバー内に手などを入れない。
モーターカバーを外して使用しない。

【守らないと】

機械に巻き込まれたりして、ケガをする恐れがあります。

**注意**

コンテナ運転中や停止直後は、モーターに手などを触れない。

【守らないと】

モーター本体が熱くなっており、ヤケドをする恐れがあります。

**注意**

保守・点検時は必ず電源プラグを抜く。

【守らないと】

機械が急に動き出したりして、ケガをする恐れがあります。

**注意**

コンテナを宙吊りにして保管しない。

コンテナを保管する時は、平らな所に転倒しない状態で置いて下さい。
決して宙吊りでの保管はしないで下さい。

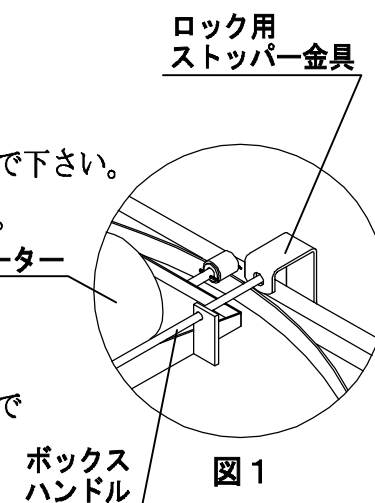
【守らないと】

落下事故などにより、ケガや下の物を壊す恐れがあります。

■ 使用上の注意

- (1) 運転開始前に、モーターの回転方向を確認して下さい。（回転方向を矢印に合せて下さい。）
- (2) 必要以上にバネホースを空運転させないで下さい。空運転が続きますとホースが破ける恐れがあります。特に手動排出の場合、注意して下さい。
- (3) サーマルが働きモーターが止まった場合、一旦スイッチを停止に戻し原因を取り除いた後、2～3分後に再起動させて下さい。
- (4) 湿った糞の場合は、シャッターを絞り手動排出で糞を出して下さい。（絞りすぎに注意して下さい。
絞りすぎるとホースに穴が開くことがあります。）
- (5) シャッターを閉めた場合、レバー（シャッター閉用）を確実に差し込んで下さい。
- (6) ジョイントボックス(首振り部)は、排出作業時以外はロックして下さい。（ボックスハンドルの後端部を本体のロック用ストッパー金具の丸穴の中に差し込んで下さい。）（図1参照）
- (7) 柱を伸縮させるときは、糞を入れる前に行ってください。
- (8) 柱を中穴、下穴で固定している場合は、ホッパーのたるみを内側に折り込んで下さい。（P. 4「柱を伸縮する方法」参照。）
- (9) 自動運転の場合、シャッターは全開で使用して下さい。
残量センサーはシャッター全開時以外は動作しない場合があります。
- (10) ひもやなわ等、穀物以外のものをホッパーの中に入れないで下さい。
- (11) モーターやスイッチボックスには雨や水がかからないようにして下さい。
- (12) 電源は必ず専用コンセントからとって下さい。

（延長コードを使用する場合は、太さが2mm²以上で長さは30m以下でご使用下さい。
また、タコ足配線やコードを巻いたままでの使用は、機械の故障の原因となります。）

**図1**

■ 組立手順

(1) 柱、ブレスのセット

① ベースのブレス用軸からブレスを外します。(4箇所)(図2-1参照)

② 柱を起こします。

機体中央側から作業を行うと簡単に組み立てる事ができます。

③ ブレス端部の穴をブレス用軸に差し込みます。(図2-3参照)

※注意 ・ブレスを組み立てた後、抜け止めのRピンを忘れずに差して下さい。

・ブレスのセットは、柱が倒れてくると危険ですので、必ず柱を支えながら行って下さい。

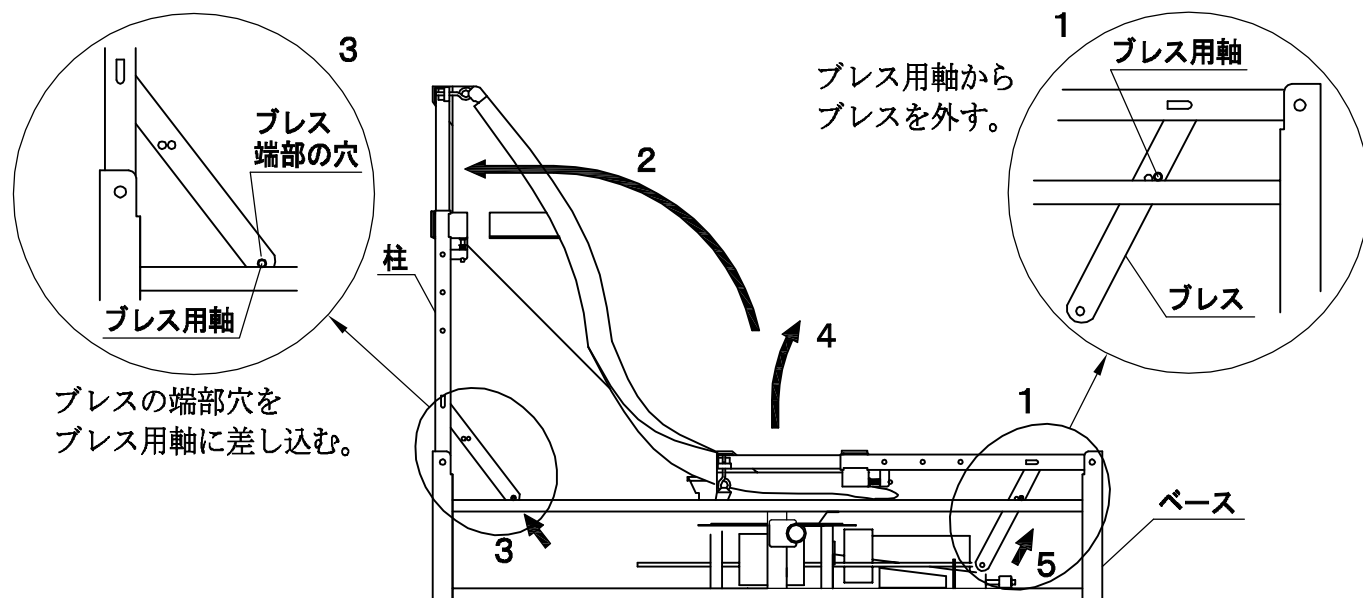


図 2

(2) 梁のセット

① 梁Dをホッパーに差込み、柱下の梁受けに入れます。(2本)(図3-1参照)

梁の差込み時、ロックピンが下がっていることを確認してください。(図3-2参照)

② ロックピンで梁Dを固定します。(図3-3参照)

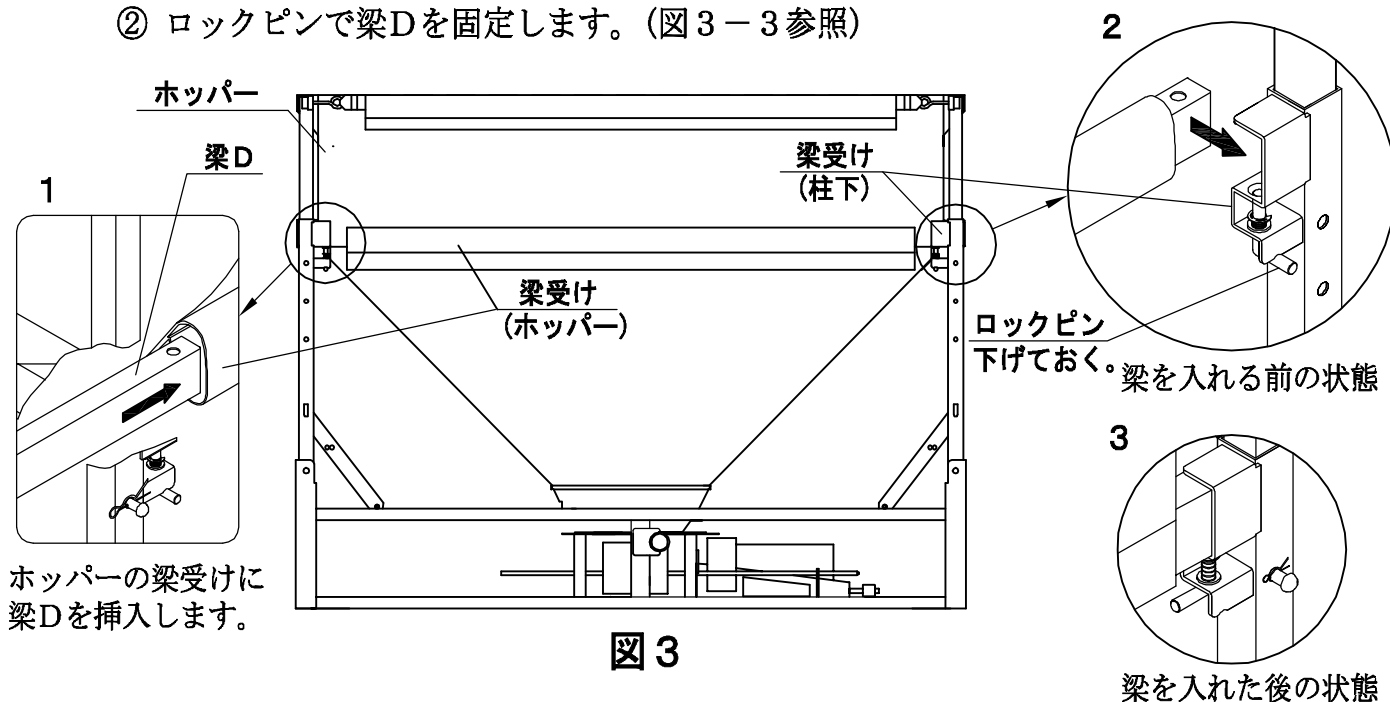


図 3

■ 柱を伸縮する方法

- ① ロックピンを外して、梁Dを柱下の梁受けから外します。(図4参照)
- ② Rピン(抜止め用)を抜き、丸頭ピンを外します。
- ③ 変更する高さ・容量に合わせて、柱上と柱下の穴位置を合わせます。
- ④ 丸頭ピンを入れ、柱上と柱下の穴に通し、柱上と柱下を固定します。
- ⑤ 丸頭ピンにRピン(抜止め用)を差し込みます。
- ⑥ 梁Dを柱上の梁受けに入れ、ロックピンを差し込みます。

※注意・柱を伸縮させるときは、粳を入れる前に行ってください。
 ・柱を中穴、下穴で固定している場合は、ホッパーのたるみを内側に折り込んで下さい。(図5参照)

(柱の各穴における仕様一覧表)

柱の固定穴	コンテナ全高	ホッパー容量
上 穴	1350mm	1600リットル(約33袋)
中 穴	1250mm	1400リットル(約30袋)
下 穴	1150mm	1200リットル(約26袋)

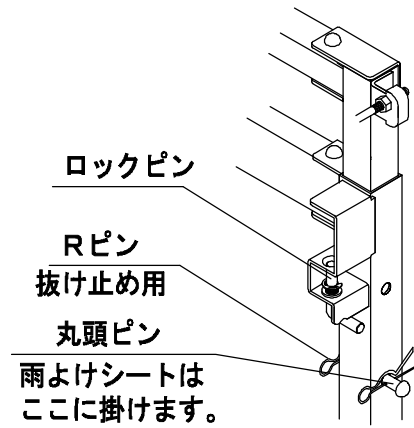


図4

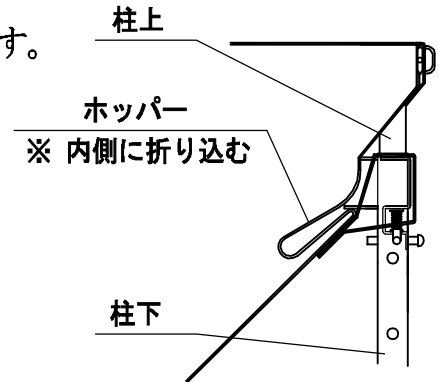


図5

■ コントロールボックスの説明

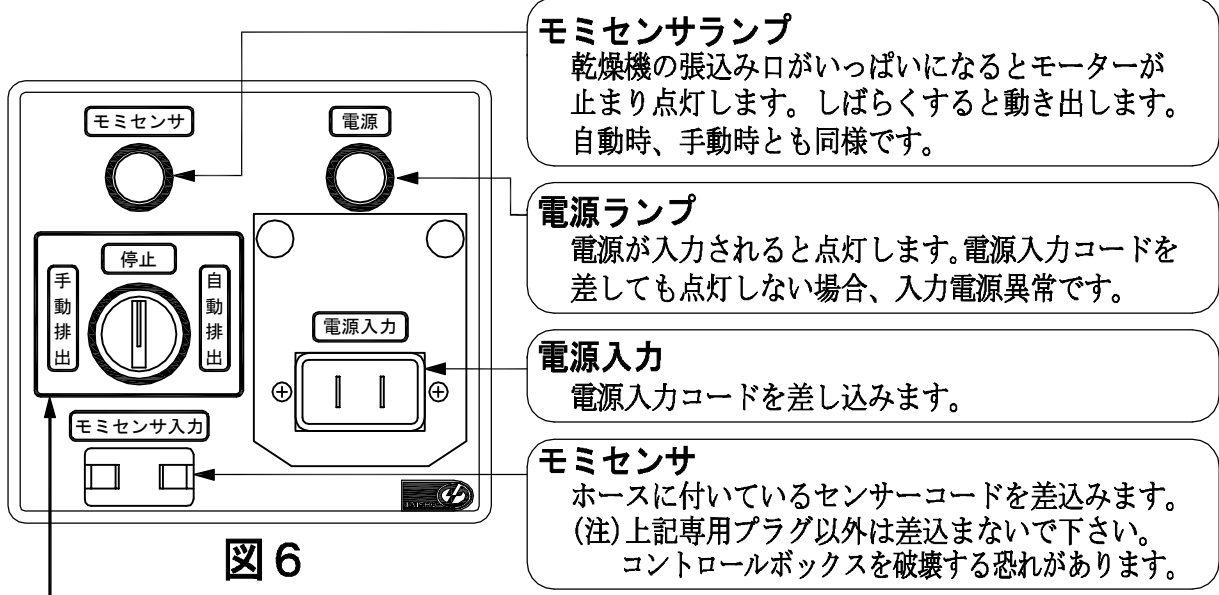


図6

運転切替スイッチ(電源投入後、5秒間は動作しませんのでご注意ください。)

(1) 自動排出

- ① ホッパー内に粳が多量にあり、シャッターを全開で粳を排出する場合に使用します。
- ② ホッパー内の粳が少なくなると、自動的に残量センサーが働きモーターが停止します。

(2) 手動排出

- ① 自動排出後、ホッパー内に残った粳を排出する場合に使用します。
- ② シャッターを全開にしない場合 使用します。(湿った粳や排出量を調整して排出する場合)(シャッターを絞りすぎるとホースに穴が開くことがありますので注意して下さい。)

■ 排出手順

(1) 排出 1

一般的な排出の場合

- ① ホースを差し込みます。
- ② 電源コードを差し込みます。
- ③ スイッチを自動排出にします。
- ④ シャッターを全開にします。
残量センサーが作動するまで粃が排出され、その後自動的に止まります。
- ⑤ スイッチを手動排出にします。
(残った粃をすべて排出させます。)
- ⑥ 排出終了後、スイッチを停止にします。
- ⑦ シャッターを閉めレバーを入れます。
- ⑧ 電源コードを外します。
- ⑨ ホースを外します。

(2) 排出 2

湿った粃や排出量を調整して排出する場合

- ①～② は排出 1 と同じです。
- ③ スイッチを手動排出にします。
- ④ シャッターを適度に関開きます。
粃が排出されます。(シャッターの関開忘れによる空運転やシャッターの絞リすぎは、ホースの穴開き原因となりますので注意して下さい。)
- ⑤～⑧ は排出 1 ⑥～⑨ と同じです。

■ 折りたたみ方法

組立と逆の手順を行うことで折りたたむことができます。

- ① 梁Dを外します。(梁Dの格納場所は図7参照)
 - ② ベースのプレス用軸からプレスを外し、柱を倒します。
ホッパーをつけた状態でたたむ時はホッパーを内側に入れるようにして下さい。
 - ③ プレス中間部の穴をプレス用軸に差し込み、固定します。
柱上同士が重ならない場合は、プレスの支点に近い穴を使用して下さい。(図7-2参照)
柱上が重なる場合は、上側の方のプレスは支点から遠い穴を使用して下さい。(図7-3参照)
- ※注意 ・プレスの解除は、柱が倒れてくると危険ですので、必ず柱を支えながら行って下さい。

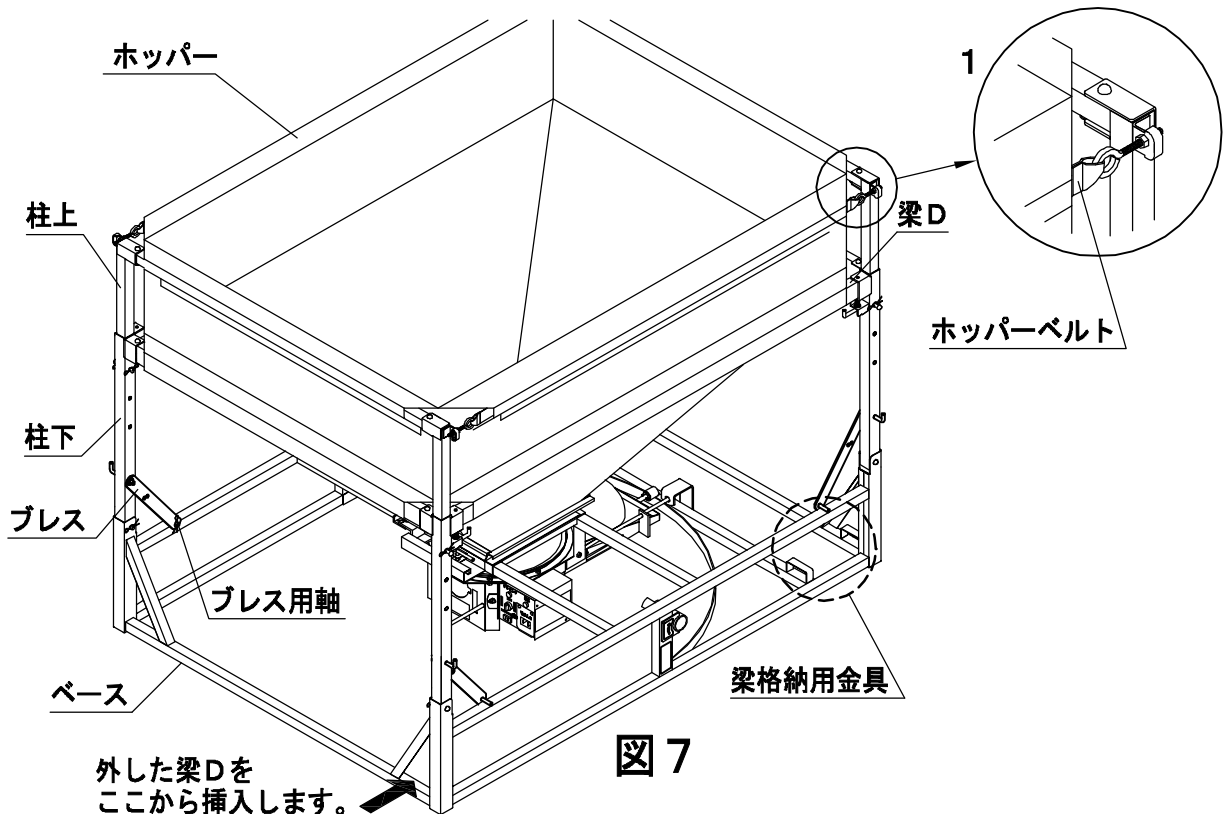


図 7-2

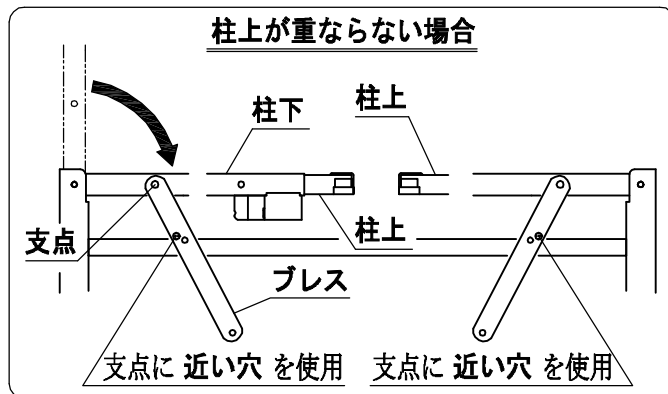
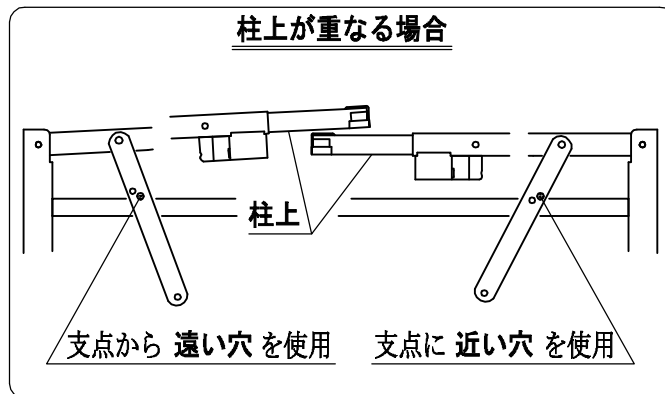


図 7-3



■ ホッパーの外し方

ホッパーの清掃、補修等でホッパーを外す際は以下の手順で行ってください。

- ① 各梁及びホッパーベルトを外します。
- ② 丸頭ピンを外し、金具おさえを本体から外します。
- ③ ホッパー金具を本体より外します。

※注意 再度本体にホッパーを取り付ける際、梁を取付けた後、ホッパーベルト(図7-1参照)をきつく閉めすぎないように注意してください。組立が困難になる場合があります。

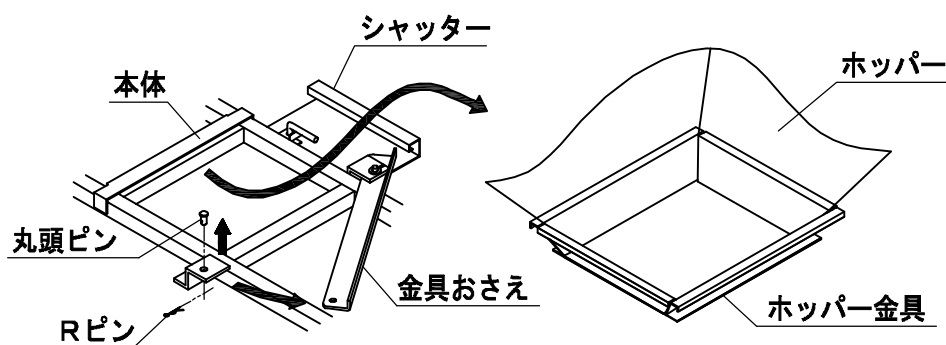
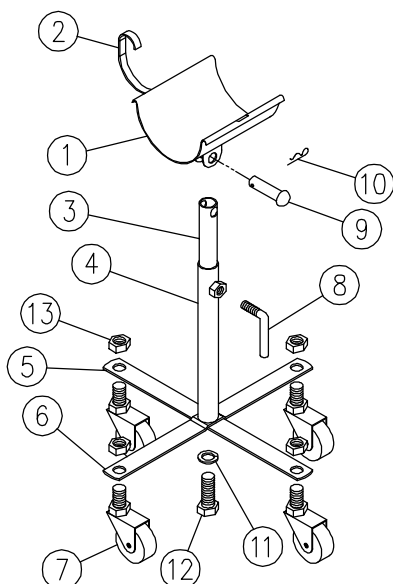


図 8

■ 分解図

(1) ホーススタンド部



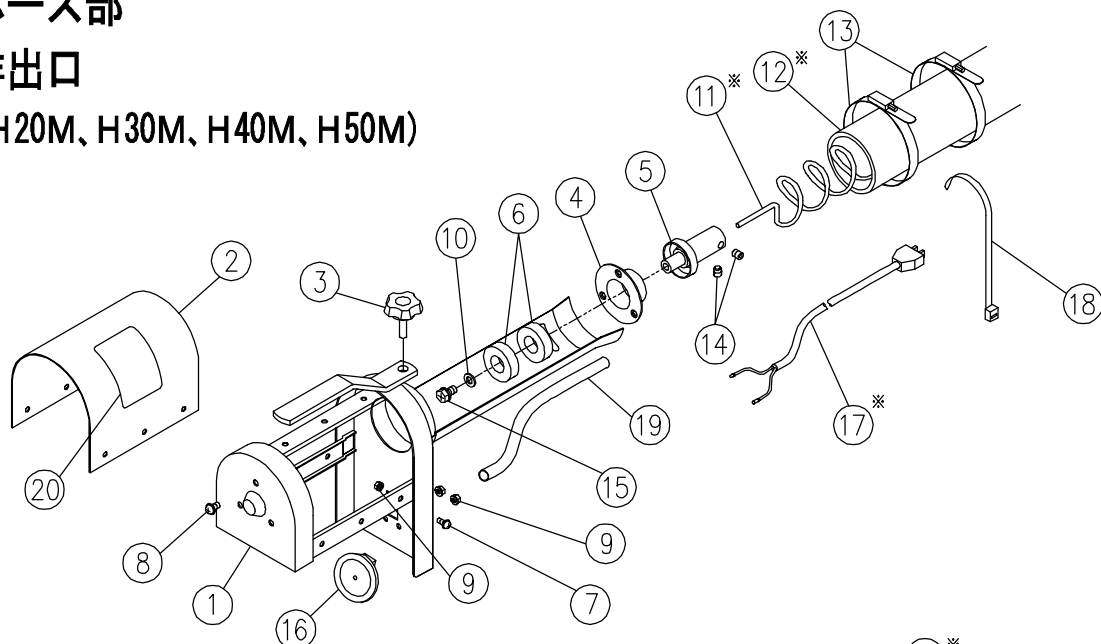
No	部 品 名	数量(※1)	
		M	DM
1	保護カバー	ホース外径φ73	1
		ホース外径φ95	1
2	ゴムバンド	1	
3	支柱パイプ	1	
4	スタンドパイプ	1	
5	脚 A	1	
6	脚 B	1	
7	キャスター(車輪φ40)	4	
8	Lボルト (M10)	1	
9	丸頭ピン(φ8×45)	1	
10	Rピン(φ8用)	1	
11	バネ座(M12用)	1	
12	六角ボルト(M12×30)	1	
13	六角ナット(M12P1.25)	4	

※1 MはH20M、H30M、H40M、H50Mを
DMはH15DM、H30DM、H45DM、H65DMを示しています。

(2) ホース部

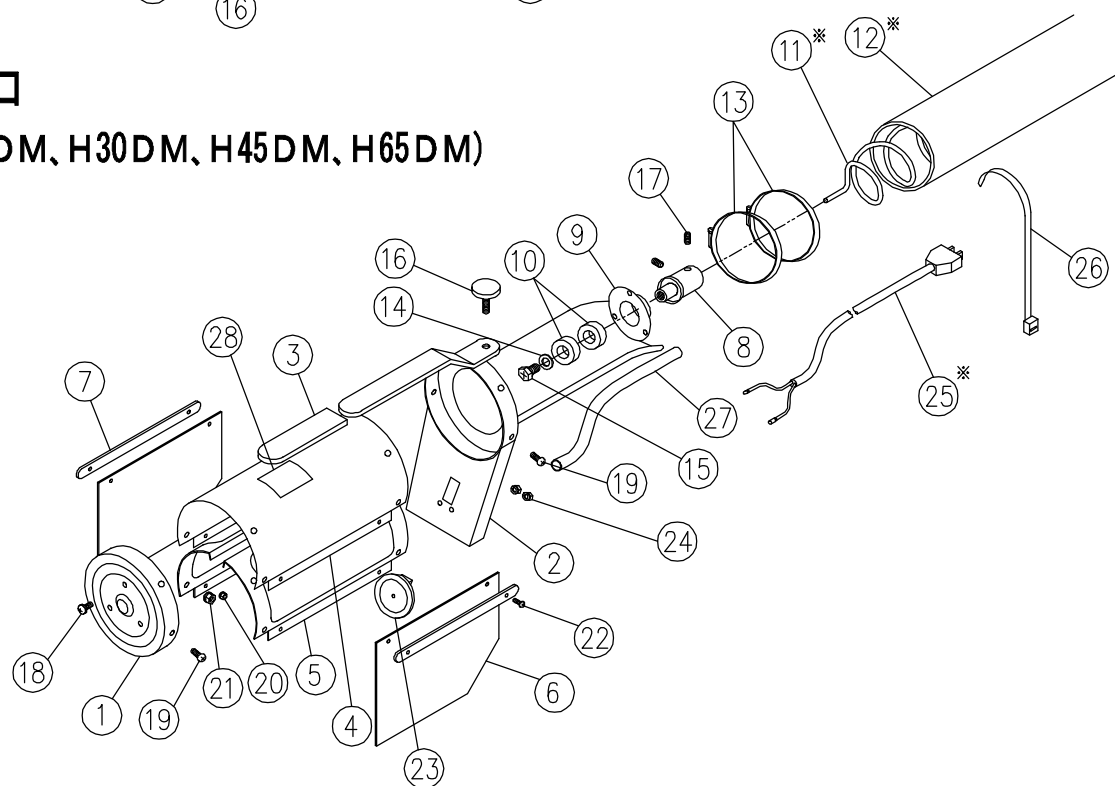
排出口

(H20M、H30M、H40M、H50M)



排出口

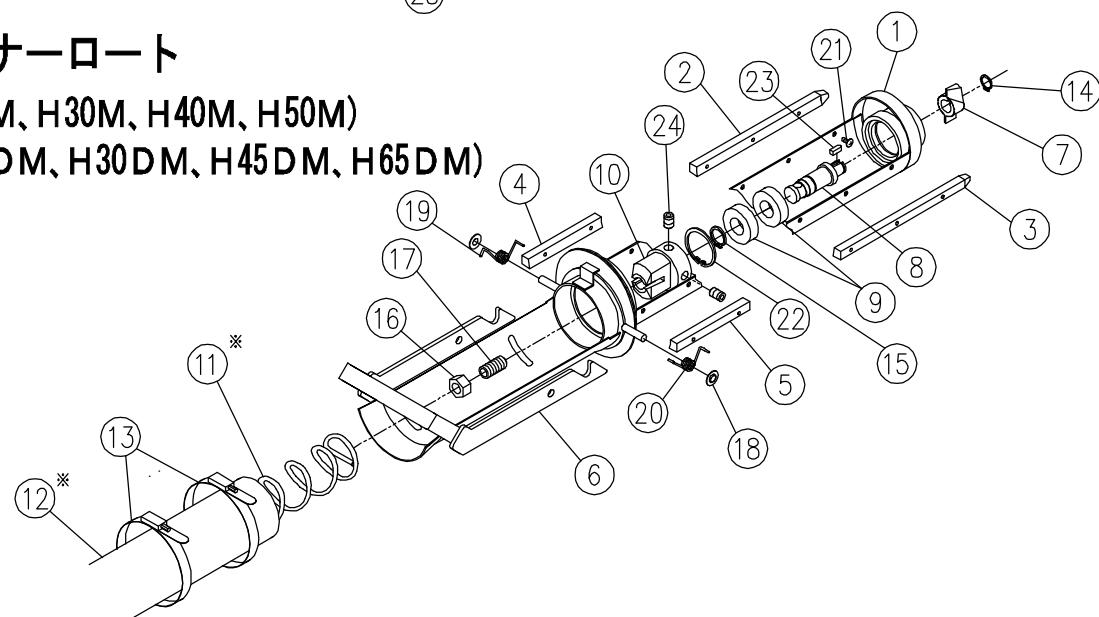
(H15DM、H30DM、H45DM、H65DM)



インナーロート

(H20M、H30M、H40M、H50M)

(H15DM、H30DM、H45DM、H65DM)



排出口部品表 (H20M、H30M、H40M、H50M)

No	部 品 名	数量	No	部 品 名	数量	No	部 品 名	数量	
1	排出口	1	9	六角ナット(M5 SW付)	8	17	センサーコード(※2)		1
2	排出カバー	1	10	平座(M8用)	1	18	リリーサブル タイ	H20M	6
3	ノブボルト(M8×30)	1	11	送りバネ(外径φ55×P45)(※2)	1			H30M	8
								H40M	10
								H50M	12
4	ベアリング受け	1	12	ホース(内径φ63×外径φ73)(※2)	1	19	ビニールチューブ		1
5	ソケット軸	1	13	ホースバンド(φ80用)	2	20	注意、 型式 シール	TE-64-110-A1(H20M)	1
6	ベアリング(6202Z)	2	14	セットスクリュー(M8×10)	2			TE-64-110-B1(H30M)	1
7	ナベビス(M5×12 平座付)	6	15	六角ボルト(M8×15 SW付)	1			TE-64-110-C1(H40M)	1
8	ナベビス(M6×12 SW付)	3	16	靱センサー	1			TE-64-110-D1(H50M)	1

排出口部品表 (H15DM、H30DM、H45DM、H65DM)

No	部 品 名	数量	No	部 品 名	数量	No	部 品 名	数量	
1	フランジカバー	1	12	ホース(内径φ85×外径φ95)(※2)	1	23	靱センサー	1	
2	排出フランジ	1	13	ホースバンド(φ100用)	2	24	六角ナット(M5 SW付)	2	
3	ハンドルニギリ	1	14	平座(M8用)	1	25	センサーコード(※2)	1	
4	排出カバー	1	15	六角ボルト(M8×15 SW付)	1	26	リリーサブル タイ	H15DM	5
5	カバー補強	2	16	ノブボルト(M8×40)	1			H30DM	8
								H45DM	11
								H65DM	15
6	カバー	2	17	セットスクリュー(M8×10)	2	27	ビニールチューブ	1	
7	カバー押さえ	2	18	ナベビス(M6×15 SW付)	3	28	注意、 型式 シール	TE-64-111-A1(H15DM)	1
8	ソケット軸	1	19	ナベビス(M6×15)	8			TE-64-111-B1(H30DM)	1
9	ベアリング受け	1	20	六角ナット(M4 SW付)	4			TE-64-111-C1(H45DM)	1
10	ベアリング(6202Z)	2	21	六角ナット(M6 SW付)	8			TE-64-111-D1(H65DM)	1
11	送りバネ(外径φ75×P62)(※2)	1	22	ナベビス(M4×15)	4				

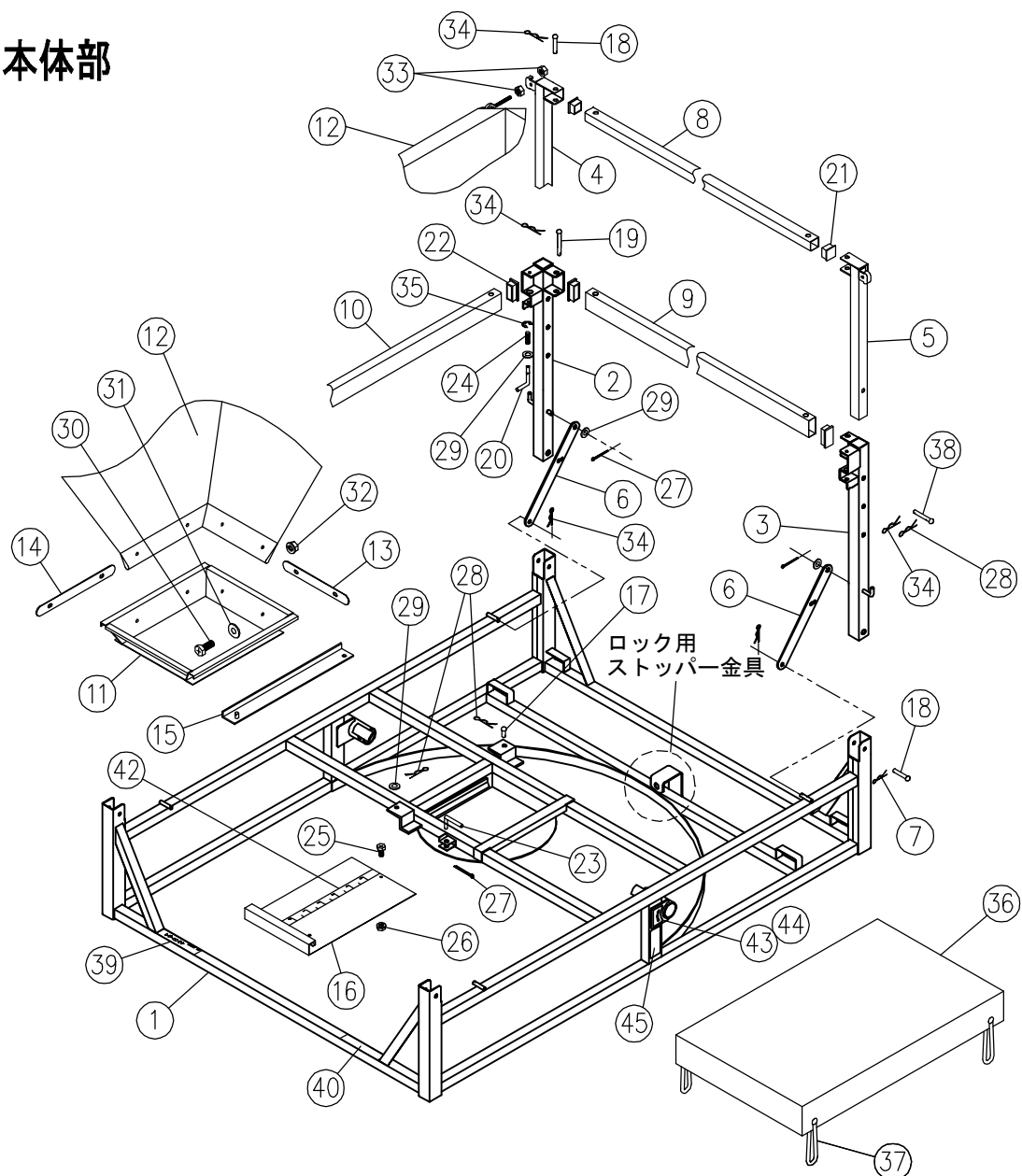
インナーロート部品表 (H20M、H30M、H40M、H50M) (H15DM、H30DM、H45DM、H65DM)

No	部 品 名		数量(※1)		No	部 品 名		数量		No	部 品 名		数量	
			M	DM				M	DM				M	DM
1	インナーロート	バネ φ55用	1	-	9	ベアリング(6004Z)		2		15	ストップリング(S-20)		1	
		バネ φ75用	-	1	10	ソケット	バネ φ55用	1	-	16	六角ナット(M14)		1	
2	ガイドバーA		1				バネ φ75用	-	1	17	セットスクリュース(M14×30)		1	
3	ガイドバーB		1		11	送りバネ(※2)	外径φ55×P45	1	-	18	プッシュナット(φ8用)		2	
4	ガイドバーD		1				外径φ75×P62	-	1	19	スプリングA		1	
5	ガイドバーC		1		12	ホース(※2)	内径φ63×外径φ73	1	-	20	スプリングB		1	
6	ホースレバー	大	-	1			内径φ85×外径φ95	-	1	21	トラスタッピンネジ(M4×12)		10	
		小	1	-	13	ホースバンド	φ80用	2	-	22	ストップリング(H-42)		1	
7	クラッチハブ		1				φ100用	-	2	23	キー(5×5×14)		1	
8	駆動軸		1		14	ストップリング(S-15)		1		24	セットスクリュース(M10×15 トガリ先)		2	

※1 MはH20M、H30M、H40M、H50Mを、DMはH15DM、H30DM、H45DM、H65DMを示しています。

※2 送りバネ、ホース、センサーコードは各機種により長さが異なります。

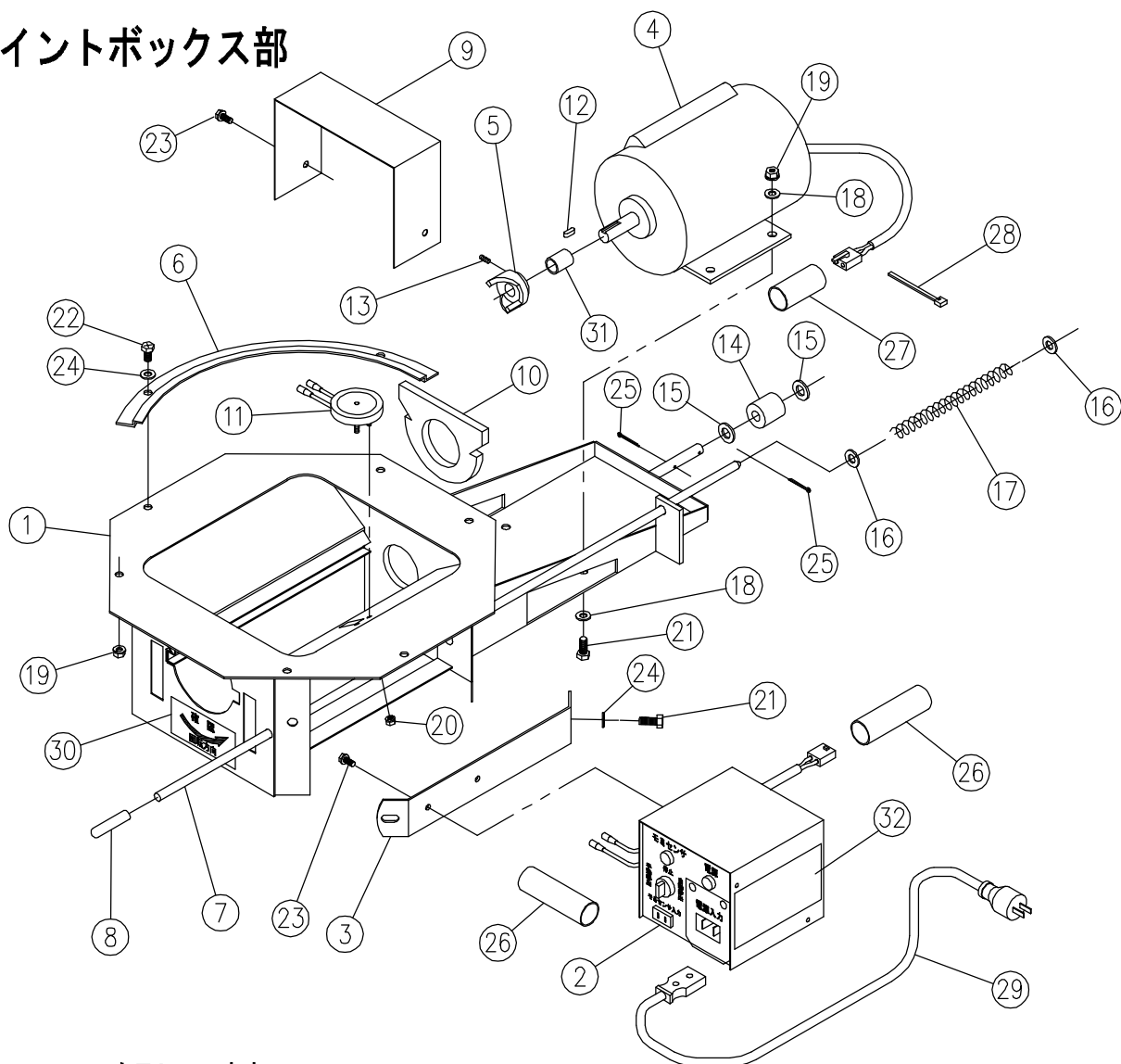
(3) 本体部



No	部 品 名	数 量	No	部 品 名	数 量	No	部 品 名	数 量
1	ベース (MAK, MBK-10用)	1	16	シャッター	1	31	平座 (M8)	8
2	柱下 A (MAK, MBK-10用)	2	17	丸頭ピン (金具押さえ用)	1	32	六角ナット (M8 SW付)	8
3	柱下 B (MAK, MBK-10用)	2	18	丸頭ピン (上梁, 柱下用)	8	33	六角ナット (M8)	8
4	柱上 A	2	19	丸頭ピン (下梁用)	4	34	Rピン (φ10用 Bタイプ)	16
5	柱上 B	2	20	ロックピン (MAK, MBK-10用)	4	35	E型止め輪 (呼び径 9)	4
6	プレス (MAK, MBK-10用)	4	21	角栓 (□35×t1.6用)	4	36	雨よけシート	1
7	ヌケドメピン (φ10用)	4	22	角栓 (60×30×t1.6用)	8	37	引掛けゴム	4
8	梁 A (上部)	2	23	レバー	1	38	丸頭ピン (柱固定用)	4
9	梁 C (下部)	2	24	パネ	4	39	型式シール	1
10	梁 D (下部)	2	25	六角ボルト (M6×10)	1	40	注意シール67-064-2005	1
11	ホッパー金具	1	26	六角ナット (M6 SW付)	1	41	取扱説明書	1
12	ホッパー (MAK, MBK-10用)	1	27	割ピン (φ2.5×20)	5	42	目盛りシール	1
13	ホッパーおさえ板 A	2	28	Rピン (φ10用)	6	43	回転方向シール A	1
14	ホッパーおさえ板 B	2	29	平座 (M10)	9	44	回転方向シール B	1
15	金具おさえ	1	30	六角ボルト (M8×20)	8	45	注意シールTE-64-114	2

記: ボルト、ナット、ネジ類は汎用品を使用しておりますので、市販品でも代替できます。

(4) ジョイントボックス部



記：図は MAK-10T を示しています。

No	部 品 名		数 量 (※1)			No	部 品 名		数 量			No	部 品 名		数 量		
			10S	10TH5	10TH3				10S	10TH5	10TH3				10S	10TH5	10TH3
1	ジョイント ボックス	三 相	1	-		10	パッキン	三 相	1	-		22	6角ボルト (M8×15)		6		
		単 相	-	1				単 相	-	1		23	6角ボルト (M6×15SW付)		4		
2	スイッチ ボックス アッシー	三相 1.5kw	1	-		11	残量センサー		1			24	平座 (M8)		8		
		単相0.75kw	-	1	-	12	キー	8×7×15	1	-		25	割ピン (φ3.2×20)		4		
		単相 0.4kw	-		1			6×6×15	-	1	-	26	被覆パイプ1 (φ18×100)		2		
3	取り付け板		1					5×5×15	-		1	27	被覆パイプ2 (φ18×60)		-	1	
4	モーター	三相 1.5kw	1	-		13	セット スクリュー	M8×10	2	-		28	インシュロックタイ		-	1	
		単相0.75kw	-	1	-			M5×10	-	1		29	電源 コード	三 相	1	-	
		単相 0.4kw	-		1	14	コロ		1		単 相			-	1		
5	クラッチ ツメ	穴径 φ24	1	-		15	平座 (M12用)		2			30	回転方向シール		1		
		穴径 φ19	-	1	-	16	平座 (M10用)		2			31	カラー	φ24×35	1	-	
		穴径 φ16	-		1	17	パネ		1					φ19×25	-	1	-
6	ジョイントボックスおさえ		3			18	平座 (M8用)		8			32	スイッチ取扱シール TD64182	1			
7	ボックスハンドル		1			19	6角ナット (M8 SW付)		10								
8	塩ビキャップ		1			20	6角ナット (M5 SW付)		2								
9	モーターカバー		1			21	6角ボルト (M8×20)		6								

※1 10S は MBK-10S を 10TH5 は MAK-10T-H50M を 10TH3 は MAK-10T-H30M を示しています。

■ 仕 様

型 式		MAK-10T-H30M	MAK-10T-H50M	MBK-10S-H30DM	MBK-10S-H45DM	MBK-10S-H65DM	
全 長		1, 7 6 0 mm					
全 幅		1, 3 2 6 mm					
全 高・容 量		全 高		容 量			
		上 穴	1, 3 5 0 mm	1, 6 0 0リットル (約33袋)			
		中 穴	1, 2 5 0 mm	1, 4 0 0リットル (約30袋)			
		下 穴	1, 1 5 0 mm	1, 2 0 0リットル (約26袋)			
重 量		8 9 k g	9 4 k g	9 5 k g			
モーター		単相100V 0.4kW	単相100V 0.75kW	三相200V 1.5kW			
ホース長 (有効長)		3 m (2 m)	5 m (4 m)	3 m (2 m)	4.5m (3.5m)	6.5m (5.5m)	
ホース径		内径φ63×外径φ73		内径φ85×外径φ95			
排出能力		最大5～6 t / h (83～100kg/分)		最大6～9 t / h (100～150kg/分)			
首振り角度		約180°					
標準装備		ホーススタンド、雨よけシート					
上記以外の ホース完備		型 式	ホース長	有効長	型 式	ホース長	有効長
		H20M	2 m	(1 m)	H15DM	1.5m	(0.5m)
		H40M	4 m	(3 m)			
		(単相100V 0.4kWで使用可能)					
オプション	回転 スタンド	L T-7 0 1 (軽トラック用) L T-7 0 3 (1 t ～ 1. 5 t 用)					

記：本仕様は、改良のため予告なしに変更することがあります。